

探偵物語の処女作

黒岩涙香

青空文庫

私は元来自分で読物を書くなどと云う考は無かつた。唯だ私の叔父が裁判官であつて、私は子供の時から、色々裁判に関することを見もし、聞きもして、能く「誤判例」などを読んで、悪人であつた者が死後には善人であつたり、或は善人だと思つて居た者が、大悪人であつたりする事実を知り、其方に大に趣味を懐くことに爲りました。左様いうことを世人の誤ら無いように爲るには、実際に必要だと思つて居りました。殊に其頃の新聞に発刊停止が頻々と下つて随分裁判の不公平が有りましたから、其れを一つ当て擦つて、裁判と云うものは社会の重大なるものぞと云うことを知らせてやろうと思ひました。それで自分が「絵入自由」

に居た頃、筋書を話して其頃の戯作者則ち小説家に書かせました。所が、当時の戯作者は爾ういう物語を書く時には、何時いつも編年体であつて其人物の生おいたち立から筆を立て、事實を順序正しく書くものですから、最初から悪人、善人、盜賊と知れて了つて、読者を次へくと引く力が無い。即ち面白いもつ纏れ合つた事を真先に書き出して置いて、乱れた環たまきの糸口を探るように、其の原因に遡つて書くと云うことが出来なかつたのでした。遂に其の小説は読者の非難が多くて中止をしなければ為らぬ事になつて、それで私に書けと云われたものでありましたから、然らばとて始めて是に著手して見ました。私は全然編年体を改め、先ず読者を五里霧中に置く流でやりましたが、意外にも大当りを致しました。是が翻訳

小説の処女作で、題目は「法廷の美人」、前に中止した方は「二葉草」と申しました。それから今日こんにち（明治三十八年二月頃）までに翻訳した小説は七十余种に上つて居ります。

（春陽堂『明治大正文学全集』第八卷昭和四年二月所収）

青空文庫情報

底本：「日本探偵小説全集」 黒岩涙香 小酒井不木 甲賀三郎
集」 創元推理文庫、東京創元社

1984（昭和59）年12月21日初版

1996（平成8）年8月2日8版

入力：網迫、土屋隆

校正：大野 晋

2004年11月6日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www>

W.aozora.gr.jp) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランテイアの皆さんです。

探偵物語の処女作

黒岩涙香

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>

※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。

<http://tokimi.sylphid.jp/>